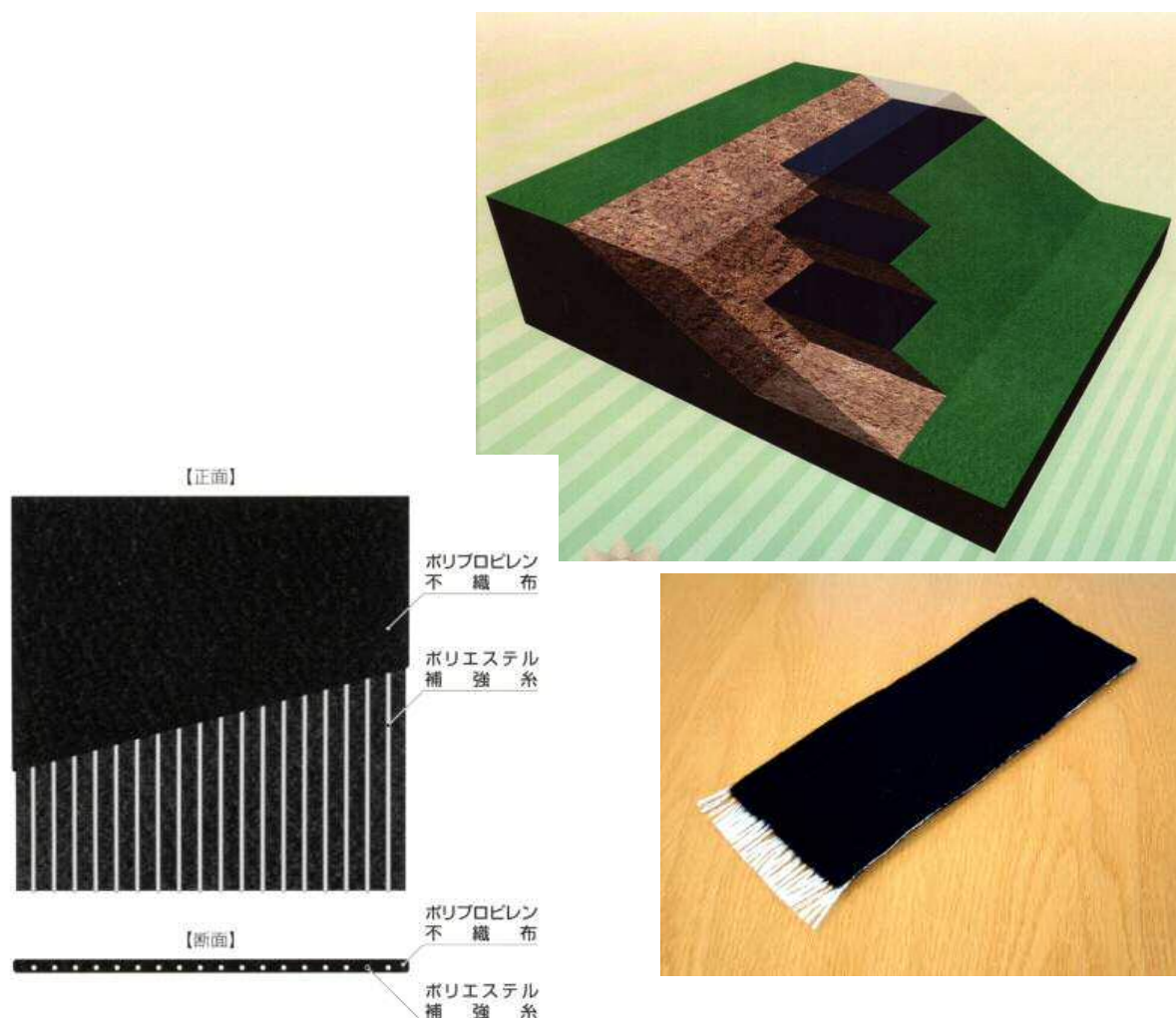


排水性盛土補強材

ダイヤベースHS（建技審証第0213号）

○技術の概要

「ダイヤベースHS」は、補強土工法における引張補強材としての機能と排水材としての機能を併せ持った排水性盛土補強材です。引張補強機能を担う高強力ポリエステル補強糸に排水機能を担うポリプロピレン製短繊維不織布をニードルパンチ加工により一体化させた構造を持ち、盛土の引張補強機能と土中浸透水の排水機能を併せ持つ、ジオコンポジットタイプの排水性盛土補強材として開発されたものです。



「ダイヤベースHS」の構造

「ダイヤベースHS」の種類

銘柄	形状		引張強度(kN/m)	
	幅×ロール長 (m)	厚さ (mm)	品質管理強度	製品基準強度
HS40	1.0 or 2.0×60	5	44	40
HS60	1.0 or 2.0×60	5	66	60
HS120	1.0 or 2.0×60	5	132	120

○技術の特徴

「ダイヤベースHS」は、以下の特性を有した排水性盛土補強材です。

- ① 良質の砂より優れた通水性能を安定して発揮できる。
- ② 上載土による土圧が作用しても安定した排水性能を維持できる。
- ③ 高い引張強度と高いクリープ特性、盛土の変形に対する追従性を有する。
- ④ 施工時における重機などの衝撃に対して優れた耐衝撃性を有する。
- ⑤ 使用を想定される環境下における耐久性に優れる。
- ⑥ 土粒子と表面不織布との密着性があり、土との摩擦抵抗力が大きい。
- ⑦ 周辺環境に対する安全性を有する。

○適用例

「ダイヤベースHS」の適用例を以下に示します。

補強土壁（鋼製壁面材）としての適用例



補強土壁（土のう巻き）としての適用例



○審査証明の結果

「ダイヤベースHS」は、以下に示す性能を有していることが確認されました。

（１）水理特性

排水性盛土補強材として、十分な水理特性（排水性能）を有している。

（２）引張強度特性

排水性盛土補強材として、一体性を保ち十分な引張強度特性を有している。

（３）クリープ特性

長期にわたり継続的に作用する荷重に対して、実用上十分なクリープ特性を有している。

（４）施工時における耐衝撃性

排水性盛土補強材として、施工時において十分な強度を保持できる耐衝撃性を有している。

（５）耐久性

排水性盛土補強材として、十分な耐候性、耐薬品性を有している。

（６）土との摩擦特性

使用を想定される盛土材料に対して、十分な摩擦特性を有している。

（７）環境に対する安全性

排水性盛土補強材として使用された際、環境基準を超える汚染物質の溶出がなく、また燃焼時において、塩化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物、シアン化水素、アンモニアの有害ガスが発生しない。

○審査証明の範囲

通常の盛土材料である砂質土、粘性土、さらに高含水比な砂質土や粘性土などの低品質な盛土材料を含む土を盛土材料として適用する盛土構築において、盛土の引張補強材、排水補強材およびその両方を目的とした補強土工法に、土中に敷設して適用される。

○審査証明の有効期間

平成29年11月6日～平成34年11月5日

○技術保有会社／お問い合わせ先

三菱ケミカルインフラテック株式会社 土木・防水補強部 土木資材グループ
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-2-2 三菱ケミカル日本橋ビル
TEL 03-3279-3072 FAX 03-3279-6725

○審査証明実施機関

一般財団法人 土木研究センター

○審査証明年月日

平成14年11月6日

平成19年11月6日 更新

平成24年11月6日 内容変更・更新

平成29年11月6日 内容変更・更新